



ジオパーク構想情報発信室 「とこじお」でとことん知ろう

10月9日に三好ジオパーク構想情報発信室「とこじお」が施設「箬蔵とことん」に開設されました。

とこじおは、様々な展示物やパネル等を用いて三好ジオパーク構想に関する情報を知ってもらい、エリア内を巡ってもらうために開設された情報発信施設です。

今後は、とこじおを活用した様々なジオツアーやイベントも企画・実施する予定で、地域内外問わず幅広い方に利用していただくことを目指しています。

にし阿波の傾斜畑で見られるコエグロ



山を管理する大切さを知る 地元で山の間伐体験

10月29日、西井川小学校が地元の山林にて間伐体験を行いました。

この林業体験は「みどりの少年隊」活動の一環として、平成2年から毎年、西井川林業クラブと県の職員がボランティアで行っているものです。

この日は5、6年生の27名が6班に分かれて、直径15cmほどのスギやヒノキをのこぎりで伐りました。

普段の教室では体験できない木の伐採活動や、ボランティアの方との会話を通して、森林の働きや大切さ、間伐の必要性を学びました。



たぬきの壁画でおもてなし 三好市商工会が完成セレモニー

三好市商工会は、地元住民団体「やましろ狸な会」と連携し、三好市商工会館に狸伝承の壁画を制作し、10月1日、JR阿波川口駅前広場で行われた完成セレモニーで初披露されました。

また、この日は観光列車「四国まんなか千年ものがたり」の発着に合わせて乗客をお出迎えしました。狸に扮装したメンバーらが乗客に地域の特産品などの記念品を配布しおもてなしをしました。

乗客の一人は「こんなにたくさんの方が笑顔で出迎えてくれて嬉しい」と声を弾ませました。



ふるさとの風景で新春の挨拶を 大歩危峡が年賀はがきになりました

来年の年賀はがき徳島地方版に、大歩危峡の絵柄が選ばれました。11月1日、三好市役所で、阿波池田郵便局、松下局長から高井市長に原画のレプリカが贈呈されました。

年賀はがき地方版は、全国で28種類が選定され、県西部の風景が選ばれるのは6年ぶりとなります。桜が咲く春の季節の大歩危峡と観光列車「四国まんなか千年ものがたり」を描いたもので、原画を描いたのは元地域おこし協力隊の肴倉由佳さん。三好市に移住され、デザイナーとして活動しています。

贈呈を受けた高井市長は「来年の新年の挨拶には、ぜひこの年賀状を使いたい」と話しました。11月1日から県内の郵便局と郵便局のネットショップで発売されています。皆さんも郵便局で見てくださいね。



100歳おめでとうございます



吉田 高善さん
(山城町国政)

10月8日、山城町の吉田高善さんが満100歳を迎えられ、県や市から祝状などが贈られました。

池田町で生まれ、20歳で結婚された吉田さんは、タバコ栽培や農業などを営みながら2男1女を育てられました。

山城町の自宅で一人暮らしされていて、自分で育てた野菜を使って自炊もされています。これまで身体を鍛えていたことや、好き嫌いをなく何でも食べることが長寿の秘訣だと話されていました。

これからもお元気で過ごしてください。



榎本 賀寿恵さん
(池田町サラダ)

10月15日、池田町の榎本賀寿恵さんが満100歳を迎えられ、県や市から祝状などが贈られました。

3人姉妹の長女である榎本さんは、20～30代で結婚し、生け花や料理が趣味だったようです。特別養護老人ホームに入所されている現在も、足腰が丈夫で、自分のことは自分でする姿がみられ、また自作の化粧水も使われているとのこと。9月に行われた敬老祝賀パーティでは、代表挨拶もしっかりこなされました。

これからもお元気で過ごしてください。



箬蔵寺で山岳救助訓練 救助隊員

池田消防署は10月22日、隊員11名が参加し山岳救助訓練を行いました。

池田町州津の箬蔵寺の仁王門に入った山林で、参拝客の夫婦が崖から転落し、夫から「妻が足を怪我して動けない」と救助要請の通報があったと想定。近くの木にかけたロープをハーネスに取り付け、隊員3名が崖から降りて妻を担架に乗せて救助しました。

三好市内では剣山をはじめとした山岳で多く見られる転落事故などに焦点を当て、経験の浅い隊員の初動体制の確認と技術の向上を図りました。



ウォータースポーツで楽しい一時 水飛沫舞うイケダ湖 大歩危・小歩危

穏かな秋晴れの10月24日、ウォータースポーツのベストスポットであるイケダ湖でウォータースポーツチャレンジが開催されました。参加者はウェイクボード、ウェイクサーフィン、サップヨガ、サップツアー、ラフティングのトップインストラクターからそれぞれ指導を受け、水上での素敵な時間を過ごしました。

10月30日、31日にはイケダ湖と大歩危・小歩危で大歩危リバーフェスティバル2021が行われました。ラフティングボートでの綱引きやレースなど白熱の戦いに観戦者は大いに盛り上がりました。



藍染の帽子でおしゃれに チューリップハット講座開催

「藍工房 たった一本の幸せ」の近藤美佐子さんを講師に迎え10月16日、中央公民館でチューリップハット講座が開催されました。

阿波本藍染生地を使ってリバーシブルのつば広の帽子を作る講座で、参加した7名の受講者からは、「散歩や買い物に使っていききたい。毎日つけて歩きます。」「慣れないシン仕事や細かい作業で大変でしたが、高級感があり、大満足です。」と楽しんだ様子でした。

型紙は持ち帰ることができ、友達にも作ってあげたいとの声も聞かれました。



笠井信輔さん 命の講演 三好市民大学講座、人権教育講演会

三好市民大学講座、人権教育講演会が10月23日に池田総合体育館で開催されました。講師にフリーアナウンサーの笠井信輔さんをお迎えし、「生きる力引き算の縁と足し算の縁」と題した講演会を開催しました。

笠井さんからは、自らのガンとの闘病生活で元気を与えてくれた人との新しい縁を大切にすること、苦しいことがあっても前向きに努力し、正確な情報と生きる希望を持つことの大切さを伝えていただき、約170人の来場者が熱心に耳を傾けました。